

# 守っていきま まて

# いいたての味

東日本大震災及び原発事故による全村避難のため、村内の商工業も休業をしいられました。一部は、村外の移転先で営業を再開しています。その中で、飲食店は、福島市に3店舗、伊達市に1店舗、相馬市に1店舗が村外で営業を再開しています。



伊達市で営業を再開している「味処エンドー」の遠藤さん夫婦

## みんな大好き こってりみそラーメンは健在 ラーメン居酒屋 味処エンドー

平成23年9月に伊達市保原町で営業を再開した「ラーメン居酒屋 味処エンドー」。お店を営む遠藤利正さんにお話をうかがいました。

震災前は、草野地区で食堂を営んでいた遠藤さん。にんにくの効いたこってり味のみそラーメンは村民から愛される味。また、飯館牛を使った牛丼や焼肉定食などが好評でした。

震災後は、福島市の借り上げ住宅に入居し、現在の移転先での営業を再開するまでは、見守り隊で働いたこともあったそうです。「店を再開させるために、役場や商工会に相談しました。商工会の方で空きテナントを紹介してもらったのが今の場所です。」

開店することが出来たのは平成23年9月27日。オープン当初、



▲店内にはカウンターと座卓が並びます



▲「みそラーメン定食 レディースセット」は650円でこのボリューム！一番人気は「みそラーメン定食」800円。

たくさんの方々が来店したそうです。「初めの3か月は村の人が懐かしがつてたくさん来てくれましたね。中には遠くから来てくれた方もいました。」

ただ、今の店舗は駐車場が近くにないため、車で来るお客さんの確保が難しいそうです。他にも、村で営業していた時と勝手が違うことを身にしみて感じることもあるそうです。「移転しての営業は厳しい部分もあります。こちらに合わせ、村で営業していた時よりも値段を下げて提供しています。今は昼と

## 「村にいた時から食べていたからね」 伊達市に避難している寺島美世さん(佐須)



病院に行った帰り道で時々利用しています。最初の頃は一人ではなかなかお

店に入れなかったけれど、孫と一緒に来店してから一人でも入れるようになりました。お店の前を通るたびに、おいしそうなお匂いがしていたので、食べたくなって。やっぱり、地元のお店はいいですね。村にいた時から食べていたから、ここに来るとみそラーメンが食べたくなります。



▲「これからもラーメンは続けたい」と話す遠藤さん

夜にお店を開けていますが、この辺りは飲み屋さんが多いので、昼よりも夜の営業がメインですね。

これからの営業については、「今の場所での営業はなかなか難しいので、福島市内に移転し、夜の営業を中心にしたと考えています。それでも、『エンドー食堂のみそラーメンが忘れられない』というお客さんがいらつしやるので、ラーメンの提供はやめずにこの味は守っていきたくて」と話していました。

## ラーメン居酒屋 味処エンドー

住所 伊達市保原町6丁目4  
電話番号 024-576-7083  
営業時間 11:00~14:00、17:00~22:30  
定休日 毎週日曜日



## 村商工会に聞きました

経営指導員 木幡昌博さん

避難先で営業を再開した事業所へは、相談を受けて村外の空きテナントの情報提供や県の補助金などの支援事業や融資などの紹介をしてきました。そのほか、商工会として東電への損害賠償の請求のお手伝いや交渉などを行いました。

再開希望の飲食店はほぼ開店しましたが、なかには避難先では再開せず、村に戻るようになつたら村内で営業したいという飲食店経営者もいます。今後は、そういった帰村に向けた村内での営業再開を見越した対応を行っていくようになっていきますね。飲食店がいつ村内に戻るようになるかは分かりませんが、村内での営業再開に対し、お客さんの確保や水や食材への風評被害対策、再開に向けての支援などの課題があります。村が行う帰村についての住民意向調査などをしながら対策をしていく予定です。



▲「今後は村内での営業再開対策が課題」と話す木幡さん